

# 師範会会議議事録

作成: 永盛

日時 平成25年2月16(土) 12時～  
場所 (公社)日本空手協会 総本部 会議室  
参加者 大津 直之介 川澄 治男 川上 弘紀 永盛 茂  
出席数 会員総数 104名中(出席 72名 委任 20名) 92名で会議成立  
議題 I 師範会規約改正の件

- ・ 名称の変更 師範会委員(19名)は変更なし  
準師範会委員(グイヤーの記載名称)を師範会委員補の名称で運営…継続審議。

## II 称号の件

- ・ 称号の創設及び授与に関する規定  
(目的)  
師範会規約19条に基づき贈られる称号の名称と該当者の要件及び選考手続きを明確にする。  
(名称と選考基準)  
範士…65歳以上 8段以上  
教士…60歳以上 7段以上でA. A. A  
錬士…50歳以上 5段以上  
錬士は県本部より推薦 書類審査になる(大会の結果・指導力が県で認めている人物)  
……提案通り承認される。

## II その他

- ・ 新師範会会員紹介  
1、横内 武久(北海道)欠席
- ・ 師範会会員候補者の名前紹介  
1、半崎 靖雄(総本部) 2、中 達也(総本部)……全員の拍手で承認される。
- ・ 首席師範より  
一少年の自由組手これからも継続するが、基本一本組手は協会の宝、真髄であるので止めないで頂きたい。  
外した理由は審判の判断が見にくい、難しいである。  
一指導A 審査A 審判A は更新制にして、質の向上にへ取り組む。特に審査Aは全ての形をマスターする。  
A級審査は突発で形を指示する、出来なければ不合格にする。  
一団体戦の5人制で3勝しても今まで通り最後まで試合をする  
一防具着用について  
女子の胴当ては団体戦 個人戦共に着用を義務付けする。  
マウスピースは男子 女子共に団体戦 個人戦に着用義務付けする。  
(都道府県大会や昇段審査等にも着用させて下さい)
- ・ 少年合宿について…総本部だけではなく地区(九州地区、北海道地区等)でも開催して頂きたい。

## II 稽古会

- ・ 審判員のジャッジにバラツキがある為、動作の再徹底をした。
- ・ 動作を大きく周囲からはっきり解るように。
- ・ 副審をむやみに集合させない。

# 型の緩急の確認会

平安初段 第4挙動 右拳槌縦廻し打 右足を半歩引きよせながら →左足に引きよせ立つ。

平安弐段

平安参段 第2・3・5・6挙動 閉足立ち、膝は伸ばす。

第9挙動 右四本貫手中段縦突を右足を軸に背中へ廻しながら体の回転に合わせて。

平安四段 第5・6・8・9挙動 中段横蹴蹴上 足裏を軸足の膝横に軽くつける、蹴足は膝横へ引く。

平安五段 第3・6挙動 水流れの構えを正しく。

第9挙動 開掌上段交叉受を極めてから両掌十字中段押え受をする。

第23挙動 閉足立から左足を軸に止まらないで右掌上段流し受、左手刀下段打込みをする。

鉄騎初段 第5・19挙動 左右の側面下段払は拳を肩前より斜めに。

拔塞大 第8挙動 八字立、両拳右腰構は素早く。第23挙動 両拳槌中段はさみ打は拳一握り位開く。

観空大 用意の姿勢 結び立から左足、右足の順に八字立、両手下腹部前にする。

第3・4挙動 左右貫手を胸前に構える(手刀受の時よりは少し高く)

第55挙動 右中段四本貫手上体を右手に寄せつつ右足を軸に回る。第64挙動 開掌上段交叉受回り

終えてから。

第64挙動 開掌上段交叉受を右足を軸に回り終えてから胸に引きおろす。

半月 第11・13・15挙動 中段内受。下段受は示指一本拳。

燕飛 第7・8・11・12・27・28挙動 左拳下段突きから右下段払いは止まらないで。

岩鶴 第25・29・33挙動 軸足の膝裏にすり上げる軌道。

慈恩 第35挙動 両拳上段交叉受からの右裏拳上段打が小さい又突いていない。

壮鎮 第29挙動 右中段前蹴蹴上と右上段掛受、上段裏突は同時に決まるように。

二十四歩

雲手 第16・17挙動 前腕と両掌を床につけて。第37挙動 両拳つかみ寄せ、右踵下段蹴込ながら左拳中段

突き弱い

五十四歩大 第16挙動 右猫足立、右鶏頭中段受は手足一体でまわる。

五十四歩小 第15挙動 右手刀中段流し受の後屈立は軸足を動かさない。

第36・38挙動 上段廻し打ち貫手は耳の横から

明鏡 第25挙動 両拳下段掻分け、後屈立の前腕は脇腹の横に。

珍手 第14挙動 すくい受け ゆっくり